

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

2021年5月発行

No. 182

3月 6月 9月 12月

令和3年2月臨時会
3月定例会

議案概要

令和3年度 P.3
当初予算・主な事業

委員会審査

ドローン導入 P.4
搭載機能と活用方法

一般質問

公共工事発注 P.8
地域経済の活性化

一般質問

タブレット端末 P.9
学校と家庭での活用

一般質問

障がい者支援 P.10
親亡き後の環境づくり

一般質問

チョイソコ事業 P.11
エリア拡大を視野



今号の表紙
いっしょにあそぼ！

学びの森周辺エリアのにぎわい創出の一環として、3月27日に誕生した施設「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE（カカミガハラパークブリッジ）」。

県産材の木の香りが漂う建物の中に、木製遊具やテラス、人気の飲食店が集い、子どもと大人が一緒にくつろぎ楽しめる場所です。

代表・一般質問

14人が
市政を問う P.7~



JR 蘇原駅の駐輪場などを今後整備
(関連記事は3ページ)

議会の構成

2月28日に行われた市議会議員選挙において、24人の議員が選出されました。
3月定例会では、議長・副議長の選挙、監査委員の選任、各常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の委員の選任、委員長・副委員長との互選を行いました。(◎委員長 ○副委員長)

議長



かわしまかず お
川嶋 一生

副議長



くろだ まさひろ
黒田 昌弘

監査委員



いわたのりまさ
岩田 紀正

議会運営委員会

議会運営に関する事項の協議、意見調整など

◎川瀬勝秀 ○仙石浅善 杉山元則
横山富士雄 池戸一成 足立孝夫

新総合体育館建設調査特別委員会

新総合体育館建設に関する諸事項の調査・検討など

◎足立孝夫 ○坂澤博光 水野岳男 塚原甫
小島博彦 五十川玲子 大竹大輔

総務常任委員会

市全体の計画やPR、防災、消防など



みずの もりとし
◎水野 盛俊



こじまひろひこ
○小島 博彦



くろだ まさひろ
黒田 昌弘



ながやてるこ
永治 明子



いけど かずなり
池戸 一成



かわせ かつひで
川瀬 勝秀

民生常任委員会

税金やごみ処理、健康や福祉など



せんごくあさよし
◎仙石 浅善



つかはら はじめ
○塚原 甫



いそがわれいこ
五十川 玲子



はたの
波多野 こうめ



おおたけだいすけ
大竹 大輔



あだちたかお
足立 孝夫

経済教育常任委員会

産業や農業、観光や教育など



せがわとしお
◎瀬川 利生



みずの たけお
○水野 岳男



ふるかわあけみ
古川 明美



いと だなおと
井戸田 直人



つだよしとか
津田 忠孝



かわしまかずお
川嶋 一生

建設水道常任委員会

道路や水道、公園の整備など



よこやま ふじお
◎横山 富士雄



いぶすき まゆみ
○指宿 真弓



すぎやまものり
杉山 元則



いわたのりまさ
岩田 紀正



さかざわひろみつ
坂澤 博光



よしおか けん
吉岡 健

令和3年3月定例会

定例会を3月8日から30日までの23日間開催し、令和3年度一般会計予算をはじめ、40案件を審議しました。

条例などの主な議案は次のとおりです。

▼消防団条例の一部改正

消防団員の積極的な確保と処遇改善の観点から「災害及び火災における出動手当」を2500円から7千円に引き上げます。

▼市議会会議規則の一部改正

女性をはじめ市議会への多様な人材の参画を促進するため、議員の本会議と委員会の欠席事由を、出産に加え、育児、看護、介護、配偶者の出産補助など具体的に明文化するなどです。

▼新総合体育館建設調査

特別委員会の設置決議

新総合体育館の建設に向け、建設場所や事業手法、財政計画などを市議会として調査・検討するため、特別委員会を設置するものです。

令和3年度予算と 主な事業

令和3年度の一般会計当初予算の規模は、530億7千万円で本会議で可決、成立しました。令和2年度に比べて15億円の減額、率にして2・7%の減少となっています。

このコロナ禍^かにあっても「守るべきところはしっかりと守り、そして攻めるべきところは果敢に攻める」ことを意識した「堅守速攻型予算」として編成されました。

この欄では、令和3年度当初予算の主な事業を紹介します。

承久の乱ゆかりの地PR事業

令和4年に放送予定の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に承久の乱が描かれます。

それを契機として、承久の乱の激戦地となった木曾川で、最大の勢力が対峙^{たいじ}した前渡地区への来訪者増加を見込んでいます。

観光協会が、パンフレットの作成や案内看板の設置、トイレの改修などを行うため、市が負担金を支出し、本市の歴史的魅力を全国に発信します。

地域型保育事業所整備事業

0歳児から2歳児までの保育定員が不足する市内東部に、新たに5施設の地域型保育事業所を開設します。

それにより、安心して子どもを産み、育てることができる環境の整備に努めます。

認知症者外出支援事業

認知症の方が一人歩きで行方不明になってしまった際に、衣類などに貼ってある二次元バーコードを発見者が読み取ることによって、発見した旨の通知メールが家族に届く見守りシール配布事業などを実施します。



二次元バーコードの見守りシールのイメージ

新特別支援学校整備事業

現在の各務原特別支援学校は、知的障がいのある高等部の生徒のみを対象としているため、小中学部の児童生徒と他の障がいのある高等部の生徒は、市外の特別支援学校などに通学しています。

こうした背景から、小中高一貫で、知的障がいだけでなく、肢体不自由や病弱の児童生徒も対象とした新たな特別支援学校を市内に整備します。

令和3年度は、建築と造成の設計、用地取得を行います。

ひとり親家庭等

高校生通学支援事業

ひとり親家庭などの経済的負担軽減のため、高校生がいる児童扶養手当受給世帯を対象に、公共交通機関を利用した通学に係る交通費の半額（年間3万円を上限）を給付します。

蘇原駅周辺地区

都市再生整備事業

JR蘇原駅の駐輪場や乗降場、駅周辺道路の歩行者空間を整備し、利便性の向上や安全・安心なまちづくりの形成を図ります。

委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。
各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

令和3年度一般会計予算

問 消防において導入するドローンに搭載している機能と台数は。

答 熱画像カメラや、呼び掛けができるスピーカーを搭載した機体を1台導入する。



上空から災害現場の情報収集を行うドローン

問 ドローンの具体的な活用方法は。

答 災害現場の状況監視や要救助者の検索に活用する計画で、上空からの目線が加わることで、立体的に確認をすることができるとのこと。

問 新たに導入するエアチャットロボット総合案内サービスの内容は。

答 パソコンやスマホなどからの市への問い合わせに対して、AI（人工知能）を搭載したシステムが会話形式で自動回答するサービスである。

問 まちづくり担い手支援事業の令和3年度の計画は。新たなまちづくりの担い手となる、高校生から30歳代までの20人程度を対象に、5回の講座を行い、地域課題の解決に向けた活動をしてもらう予定である。

民生常任委員会

令和3年度一般会計予算

問 令和3年度の個人市民税の歳入の見込みは。

答 均等割は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う雇用の悪化や営業所得者の減少により、1568万8千円の減収と見込んでいる。

所得割は、感染症対策に伴う休業要請や営業時間の短縮により、7億7234万4千円の減収を見込んでいる。

問 子宮頸がん予防を目的に対象者への送付を予定しているHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンに関するリーフレットに、副反応についてのリスク情報の記載はあるか。

答 リーフレットには、HPVワクチンのリスクとして、接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤み、場合によっては重篤な症状の報告がある旨の記載がある。

問 障害者自立支援事業で、紙オムツ購入費用の一部を助成しているが、おしりふきは対象とならないか。

答 市民からそのような声をたくさん頂いているため、令和3年度からは、おしりふきも助成の対象に含める。

問 産後ケア事業（出産後に家族などからの支援が十分に受けられない生後4カ月頃までの母子への支援）は、宿泊型、訪問型に加え通所型が始まるが、利用見込み件数と自己負担額は。

答 宿泊型と訪問型がともに25件、通所型が23件を見込んでいる。

自己負担額は、宿泊型が7500円、訪問型が2250円、通所型が3千円を予定している。

経済教育常任委員会

令和3年度一般会計予算

問 市内企業で働く若手社員の声を集めたキャリアデザインマガジンの発行部数と配布先は。

答 1万5千部を用意する予定で、市内の大学のほか、福井大学、富山大学、富山県立大学、金沢大学、金沢工業大学などへの配布を考えている。

問 那加東亜町にあるシティハローワークの移転時期と場所は。

答 令和4年5月に、産業文化センター5階への移転を予定している。

問 シティハローワークが移転する理由は。

答 施設の老朽化と駐車場が少ないことなどが理由である。

また、移転して市役所商工振興課や商工会議所と同じ建物に入ること、より機能的になることなどが期待できる。

問 中小企業ブランディング事業の内容は。

答 自社の強みや他社との差別化をどのようにブランディングしていくのかという手法を学ぶセミナーを開催するとともに、小規模の勉強会を5回シリーズで実施する。

また、企業に対する個別指導やアドバイスを商工会議所と共催で実施する。

問 承久の乱ゆかりの地PR事業の計画は。

答 前渡不動のある矢熊山展望台周辺の樹木を剪定し、木曾川までの見晴らしを良くす

るとともに、山頂に鳥瞰図、展望台への道に案内看板、ベンチなどを設置する。



樹木で眺望がさえぎられている現在の矢熊山展望台

問 元気な農業産地構造改革支援事業で行うイチゴ農家の施設整備の場所と規模は。

答 鵜沼真名越町で新規就農される方のハウスなどを建設するもので、面積は1600㎡を予定している。

問 就農者がこの助成を受けられる条件は。

答 研修の受講や、将来にわたって安定した営農をするための営農計画の提出、土地を用意する必要がある。

問 学校での問題発生時に、弁護士への助言を得ることができるスクールロイヤー配置事業は具体的にどのようなことを想定しているか。

答 児童生徒の触法行為や非行行為、暴力行為、いじめなどの重大な事案が発生した場合に、学校が行う事実調査の対応などについて、市が契約する弁護士に法的観点から相談することを考えている。

問 オンライン寺子屋事業では、何社の工場見学を予定しているのか。

答 7社を予定しており、一般の方もウェブサイトで見るができる。

問 建設水道常任委員会

令和3年度一般会計予算
急傾斜地崩壊対策事業の
工事内容は。

県のレッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）に指定されている尾崎中央ふれあい会館北側の斜面に、斜面の崩壊を防ぐための壁状の構造物を設置する。

問 市内には、ほかにもレッドゾーンがあるが、今回この箇所を工事する理由は。

答 斜面の下側にある施設が、災害時の避難場所などに指定されているためである。

問 市民公園リニューアル整備事業で実施するパークリノベミーティングの内容は。

答 市民が誰でも参加できるワークショップを行い、市民公園の利活用について企画立案し、社会実験を行っていくものである。

令和3年度予算では、ワークショップを2回と、社会実験を1回行うことを予定している。



令和元年度に開催したワークショップ

審議の結果

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

賛成全員…◎ 賛成多数…○

令和 3 年 2 月臨時会

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
専決処分	専決処分の承認（令和 2 年度一般会計補正予算（第 12 号／第 13 号））	承認	◎
補正予算	令和 2 年度一般会計補正予算（第 14 号）	可決	◎
条 例	福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○

令和 3 年 3 月定例会

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
新 年 度 予 算	令和 3 年度一般会計予算	可決	○
	令和 3 年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	◎
	令和 3 年度介護保険事業特別会計予算	可決	○
	令和 3 年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○
	令和 3 年度水道事業会計予算	可決	◎
	令和 3 年度下水道事業会計予算	可決	◎
補正予算	令和 2 年度一般会計補正予算（第 15 号／第 16 号）	可決	○
	令和 2 年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	◎
	令和 2 年度下水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決	◎
条 例	非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	可決	○
	行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○
	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決	◎
	消防団条例の一部を改正する条例	可決	◎
	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	◎
	介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○
	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○
	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
	産業会館条例の一部を改正する条例	可決	◎
	火入れに関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	図書館条例の一部を改正する条例	可決	◎
	市史編さん委員会条例	可決	◎
	市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
	手数料条例の一部を改正する条例	可決	◎
人 事	副市長の選任（磯谷均氏）	同意	○
	監査委員の選任（五島浩利氏／岩田紀正氏）	同意	◎
	公平委員会委員の選任（森川幸江氏）	同意	◎
財 産	財産の取得（新庁舎高層棟事務机等／新庁舎高層棟収納庫等）	可決	○
	〃（特定公園施設）	可決	○
そ の 他	市道路線の認定（市道蘇北 797 号線ほか 4 路線）	可決	◎
議員提案	市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	◎
	市議会会議規則の一部を改正する規則	可決	◎
	新総合体育館建設調査特別委員会の設置決議	可決	○
	常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の継続調査	可決	◎

代|表|質|問

代表質問とは、所属議員3人以上の会派がそれぞれの政策・主張に基づき市政に関して質問するものです。

木曽川右岸河川敷の整備

政和クラブ 足立孝夫

問 令和3年度当初予算に河川敷整備の予算が約5千万円計上されたが、何から始まるのか。

答 各務原大橋から浄化センター西側の堤防上の未利用地までの約900mの区間において、サイクリングロードの延伸を行い、未利用地での公園の実設計を行う。

問 堤防上の2ヘクタールの土地利用についてどのような構想を考えているのか、また、立地条件を十分に考慮したもののか。

答 交通量の多い堤防道路に面し、広大な木曽川の自然景観を眺望できる休憩スポットとして、多くの方の来園が期待できる。

木曽川沿いには、可児市から稲沢市を結ぶ両岸約100kmのうち、約40kmの区間のサイクリングロードが整備されており、広域的なネットワークが形成されつつある。

そのため、木曽川右岸の立地条件を生かし、国や沿川自治体と連携を図りながらサイクリングロードの拠点となるような公園整備を進める。

問 地域でのワークショップは開催されるのか。

答 地元の方を対象に年内をめどに2回程度開催したい。

地域防災力の強化

颯清会 津田忠孝

問 令和3年3月に完成する鷺沼朝日町防災備蓄倉庫をどのように活用していくのか。

答 防災備蓄倉庫では、南海トラフ地震の想定避難者数約1万5千人を考慮した備蓄を確保することができるとが。

市の中心部にあり、江南関線からのアクセスも良好で、浸水想定区域外であるなど、被災のリスクも少ない場所を選定した。

今後は、食料品や生活用品、ダンボールベッドやパーティションなど避難所の環境を向上させるものを備蓄するとともに、感染症対策のための資機材や組立式仮設トイレなどを、令和3年度から令和7年度までの5年間をかけて、順次備蓄を進めていく。

問 消防団員の出動手当の引き上げに込めた思いは。

答 過酷な現場での活動を強いられる団員への労に報いるため、出動手当を国の基準まで引き上げること、団員のモチベーションの向上を図る。

それによって、新たな団員の確保や、地域防災力の充実強化につながると考える。

新型コロナワクチン接種体制

市議会公明党 五十川玲子

問 ワクチンの有効性や安全性、副反応の情報提供の方法は。

答 接種券送付時に案内文書を同封するほか、広報紙やウェブサイトを、新型コロナワクチン通信などを通じて、適時適切に情報を届ける準備をしている。

また、広報物は、公共施設や医療機関などにも広く配布していく。

問 接種会場での緊急時対応や、障がい者への対応の準備は。

答 医師会と連携して、緊急時対応マニュアルを作成し、従事する全てのスタッフが迅速に対応できるように体制を整えていく。

また、集団接種会場で介助を必要とされる方に対しては、ワクチン接種予約時に申し出をいただくことで対応できるよう、環境整備をしている。

問 高齢者向けワクチン接種券の送付の順番は。

答 現時点（3月18日）では、4月上旬に施設入居者を先行して発送することを予定している。

その他の高齢者は、75歳以上の方は4月中旬以降に、65歳から74歳までの方へは5月以降の送付を予定している。

一般質問

3月定例会で一般質問をした議員（質問順）

横山富士雄／杉山元則／波多野こうめ／塚原甫／古川明美／瀬川利生／
指宿真弓／小島博彦／永治明子／大竹大輔／吉岡健

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に対して質問しました。その一部を紹介します。

市が発注する公共工事

地域経済の活性化に大いに貢献

問 コロナ禍において、公共工事が地域経済に果たす役割をどのように考えるか。

答 市では毎年、道路や橋、上下水道、公共施設の建設など、多くの公共工事を行っており、その発注件数の9割程度は、地元企業が請け負っている。

そして、地元企業や関連事業所では、多くの市民が働いていることから、公共工事の発注は、市民生活を足元から支えるだけでなく、地域経済全体を支えるものとも言える。

新型コロナウイルス感染症は、市内の飲食業や観光業などに深刻な影響を与えており、このような状況だからこそ、雇用を確

保し、市民の生活を維持する観点から、例年通り継続的に公共工事を発注することは、地域経済の活性化に大いに寄与するものと考ええる。



市が発注する道路工事

中期財政計画

問 中期財政計画は、令和6年度までを計画期間としているが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、今後計画を見直す考えは。

答 本市では、将来都市像の実現に向けて策定した、総合計画の後期基本計画の財政的な裏付けとして、中期財政計画を策定している。

この中期財政計画は、社会経済情勢に大きな変化があった場合には、見直しを行うこととしている。

今般の新型コロナウイルス感染症による影響は、この社会経済情勢の大きな変化に該当すると考えられる。

そのため、今後の市税などの減収額や本格的なワクチン接種開始後の動向などを見定めた上で、中期財政計画の見直しを検討していく。

新特別支援学校の整備

問 新特別支援学校を小中高の一貫校とする理由は。

答 小中学部の児童生徒が日常的に高等部の生徒の学習活動を見たり、交流したりすることで、人間関係がさらに豊かになると考える。

また、児童生徒や保護者、教職員も早い段階から進路の見通しが持ちやすく、さらに力を伸ばすことができるようになるためである。

問 新特別支援学校の開校までに教職員の質を高める研修をどのように実施する予定か。

答 特別支援教育は全小中学校の教育指導の重点の一つであるため、現在も大学教授や福祉関係者など、さまざまな分野の専門的な講師を招き、計画的に研修を実施しており、今後もさらに充実に努める。

学校教育におけるタブレット端末の活用 学校間の交流や外部講師との学習など

問

学校でのタブレット端末の具体的な活用方法は。

答

児童生徒自身の疑問や興味に対し、インターネットを活用して自分のペースで納得するまで学習を進めることができる。

また、カメラ機能を活用することで、例えば体育のマット運動では、自分自身の体の動きを見直したり、互いに助言し合ったりして効果的に学習ができる。そのほかにも、オンライン会議システムで地域や遠方の外部講師を招いた学習や、他校の児童生徒との日常的な交流など、学校生活全般にも活用できる。

問

家庭でのタブレット端末の具体的な活用方法は。

答

授業の復習や興味を深める学習など、日常的に自宅にタブレット端末を持ち帰って活用していくことを目指し、学年に応じた指導を計画的に実施する。

また、オンライン寺子屋事業では、自宅でも市内企業の紹介



児童生徒に1人1台学習用タブレット端末を配布

問

家庭で、学習以外の利用を防ぐための対応は。

答

学校で使い方に関するマニュアルや、正しく安全な使い方が身に付くよう指導する。また、動画や有害サイトへの接続や、ゲームなどを使うことができないように機能を設定する。

問

端末の導入に当たり、保護者への説明と周知は。

答

タブレット端末活用ガイドブックを配布し、周知に努めている。

新たな課題が見つかった場合は、市内小中学校の代表者で協議し、Q & Aを作成するなど必要な対応をしていく。

コロナ禍での学校教育

問

新年度のカリキュラムへの影響と対策は。

答

昨年の臨時休業期間中の学習内容は年度内に終えるため、新年度への影響はない。引き続き、感染リスクの高い近距離でのグループ学習や音楽の合唱、家庭科の調理実習などは、活動の変更、時間の短縮、タブレット端末の活用など、工夫して学習を行う。

問

コロナ禍における夏場の熱中症対策は。

答

令和2年度は、真夏に学校の授業を実施したため、塩タブレットの配布やスクールバスの運行など、多くの暑さ対策を行ったが、令和3年度は、

現時点では通常の夏季休業期間を予定しているため、コロナ禍以前の熱中症対策が中心となる。



学校玄関の上に設置したミストシャワーで涼む児童

小中学校での性教育

問

「いのちの安全教育」の実施状況は。

答

国や、岐阜県学校保健会が作成した手引きに基づき、現在、本市の「性教育の手引き」を改訂中である。

これまでも、小中学校で生命の安全教育の内容について指導しているが、令和4年度からは、改訂した内容で実施していく。

障がい者の親亡き後の支援

自立した生活を地域で支える体制を整備

問

障がい者の親亡き後の環境づくりへの市の考えは。

答

令和2年度には、自立のための環境づくりとして障がいのある方の重度化や高齢化、親亡き後を見据えて、地域生活支援拠点を整備した。

これは、地域における複数の機関が分担して、居住支援のための必要な機能をそれぞれが担う体制のことである。

令和3年度からは、さらなる機能強化として、親の急病、事故、死亡などの不測の事態により、介護者が不在となり、在宅生活が困難となった方に対して、緊急一時的に事業所での受け入れや居宅への訪問を事業者が行う安心生活支援事業を実施する。

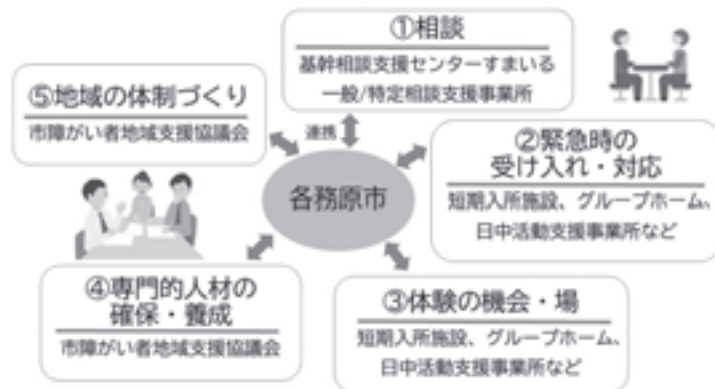
問

親亡き後の支援体制を構築するための調査研究や専門家との協議を行う考えは。

答

地域の福祉や医療、教育、雇用などの関係者で構成される「市障がい者地域支援協議会の専門部会」で、先進地の取組事例についての調査研究や、

障がいのある方の希望と目標に基づいた支援体制の協議などを行っている。



各機関が分担して5つの機能を担う地域生活支援拠点

問

HPVワクチンのこれまでの接種状況と令和3年度以降の見込みは。

子宮頸がん予防
ワクチンの接種

答

ワクチンを接種した人数は、平成30年度が6人、令和元年度が10人、令和2年度2月末時点で21人である。

令和3年度は、接種対象者に対して個別の情報提供を行うことを予定しており、例年よりは接種人数が増える想定している。

問

市内全域で希望者がPCR検査を受けられるようにしてはどうか。

答

国において、全国の高齢者施設などでPCR検査を行う方針が示されている。

また県では、高齢者入所施設の従業員を対象としたPCR検査モデル事業として、岐阜市との連携で予防的なPCR検査を実施している。

これらのデータ収集や分析について、個々の市町村が独自で疫学的調査を行うことは困難であるが、今後、市内の高齢者施設などでの検査が実施される際には、市として積極的な協力体制で臨んでいく。

新型コロナウイルス
PCR検査の実施

コロナ禍での
貧困と孤立防止

問

DV（家庭内暴力）や児童虐待を、市はどのように把握し、対応しているか。

答

関係機関からの通報や、本人などの申し出により把握している。

見守りが必要な家庭に対しては、感染防止対策を徹底しつつ、訪問回数を増やすなどの対策をとっており、今後も引き続き、関係機関と連携しながら対応していく。

問

非正規雇用で失業した方や、ひとり親家庭への支援策は。

答

就労支援として、ハローワークや市内事業者などと連携して合同企業説明会や企業見学会を開催し、支援を継続していく。

ひとり親家庭に対しては、ひとり親世帯臨時特別給付金のほか、市独自の特別応援金を支給している。

また、令和3年度より、経済的負担の軽減のため、ひとり親家庭等高校生通学支援事業を実施する。

鵜沼南地区で実験中のチョイソコ事業

須衛・各務エリアの導入を検討

問

昨年10月にスタートした
チョイソコ事業の成果は。

答

コロナ禍により、事業の
周知や会員募集に制約が
あったが、3月18日現在で、会
員登録数が268人、延べ利用
者が624人となっている。

利用者からは、ふれあいタク
シーと比較して、固定のダイヤ
がないこと、停留所よりも近く
から乗れることから、利用しや
すくなったため、外出する機会
が増えたという声があった。



事前予約型の乗り合い送迎サービス(チョイソコ)を開始

問

実証実験を行うことによ
り得た課題は。

答

現在、チョイソコは9時
から16時まで運行してい
るが、ふれあいバスを乗り継ぎ
東海中央病院などへ行く利用者
から、朝8時台の運行を望む声
があるため、関係者と運行時間
拡大の検討を進めている。

問

須衛・各務エリアを現在
のふれあいタクシーから
チョイソコに置き換える考えは。

答

今後、地域公共交通会議
での協議や運輸局への手
続きなどが必要となるが、実証
実験中に出てきた課題を整理し、
須衛・各務エリアにおいても、
鵜沼南エリアの実証実験期間を
終える令和4年10月から、チョ
イソコへ置き換える準備を進め
ていく。

問

須衛・各務エリアでチョ
イソコを導入する際、近
隣の商業エリアも含め地元住民
の利便性の向上を目指す考えは。
須衛・各務エリアでの導
入を進めるにあたり、隣

答

接する八木山エリアや、商業施
設などがある、鵜沼西町の
国道21号以北の地域までを含め
た展開の可能性について、検討
を進めている。

水道施設の耐震化

問

水道施設の耐震化や災害
対策の状況は。

答

平成26年度から、耐震診
断で対策が必要と診断さ
れた8施設の事業に順次着手し、
令和2年度は鵜沼東受水池など
の整備を行い、浄配水施設の耐
震化率は100%となった。



令和元年度に耐震壁の工事を行った松が丘受水池の内部

豪雨時の河川の 洪水対策

問

新境川上流部の河川の管
理をどのように考えてい
るか。

答

近年、想定外の局地的な
集中豪雨や台風などが頻
繁に発生しており、堤防などの
河川整備だけでなく、水底を掘
ることや、雑木の伐採などが重
要である。

このため、家屋などがあり、
洪水が発生した場合に重大な被
害の恐れがある地区で、河川の
流れを阻害している区間の一部
において、令和3年度に整備を
行う。

管路は、総延長が800kmを
超えるため、短期間では進めら
れないが、令和2年度は約13km
の管路更新を行い、耐震化率が
35%となった。
管路のうち、優先して耐震化
を進める必要がある大動脈とな
る約50kmの基幹管路については、
令和2年度に約1・5kmの更新
を行い、耐震適合率が全国平均
40・9%のところ、本市は88・
6%と高い水準である。

市民の声

こんな街がいいな！



ふれあいから子どもの笑顔があふれる街

加藤佳代さん（鶴沼西町）

14年前から市内の小学校で仲間と共に絵本の読み聞かせの活動をしています。

コロナ禍で中止となることも多くありましたが、今だからこそ子どもたちに届けて欲しいとの先生からの声で再開することができました。

子どもたちはすぐにお話の世界に引き込まれていき、読み終わると「あ～面白かった！」と言ってくれます。

読み聞かせを通じて、SNSの普及により減ってしまった、人との関わりや人の声の温かさ、心地良さを感じてもらいたいと思います。

子どもたちが大人になった時、この経験を思い出して次世代に伝えて欲しいと願っています。



みんなが楽しめる街に

吉田宗博さん（鶴沼台）

障がい者スポーツの一つ、フライングディスクに携わって20年が経ちました。

フライングディスクとは、ディスク（円盤）を遠くへ飛ばしたり、輪の中に正確に通したりするスポーツで、全国大会もあります。

公園でディスクを投げている方も見かけ、子どもから年配の方まで誰でも気軽に楽しめるスポーツで、屋外で投げると気分爽快です。

総合運動公園のような屋外施設のほかに、大きな屋根のある広場があれば、雨の日や真夏でも、フライングディスクや、いろいろな活動に利用でき、より元氣な各務原になるのではないかと思います。



自助・共助・公助が連携する街

嶋崎和夫さん（鶴沼台）

「自助・共助・公助」という言葉をよく耳にします。幸いにも、本市は大きな災害もなく、私自身これが当たり前のことのように毎日を過ごしてきました。

しかし、各地で頻繁に地震が発生しており、近い将来「南海トラフ地震」発生の可能性が高まっていると報道されています。

私たちは日頃からこうした災害に備え、地域の方々と協力し、助け合う関係づくりが大切です。

あわせて、公的な支援にも地域住民が積極的に協力し「自助・共助・公助」が連携することによって、被害を最小限に食い止めることができると良いと思います。

市議会だより編集委員会より



今号より、新たなメンバーで編集を行っています。今後も「かかみがはら市議会だより」をよろしく願います。

｜委員長｜指宿真弓 ｜副委員長｜塚原甫
｜委員｜古川明美 水野岳男 井戸田直人 池戸一成

議会傍聴のご案内

6月定例会の予定

6月 4日(金)	開会
6月 16日(水)～17日(木)	質疑、一般質問
6月 22日(火)～23日(水)	常任委員会
6月 28日(月)	閉会

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、会議の傍聴を制限する場合がございます。

傍聴を希望される方は、事前に議会事務局にお問い合わせいただくか、市議会ウェブサイトをご確認ください。

市議会の詳しい情報は各務原市公式ウェブサイトからご覧ください。

各務原市議会

検索



かかみがはら
市議会だより

｜発行｜各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
｜電話｜058-383-2001 ｜編集｜市議会だより編集委員会

